

2025年度 第2回応募

学校名： 兵庫県たつの市立神部小学校

対象学年： 4年生

① 学習指導案 学校指定様式がある場合は別資料として提出してください。

プログラム	No. 10 「校歌の風景を見つめてみよう」
単元名 (全50時間)	いい笑む調査隊～まちを元気にしよう～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌の歌詞をもとに、ふるさとの自慢が自然であることを理解する。</li> <li>・自然を大切にするために自分たちにできることを考え行動する。</li> </ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校歌の歌詞からまちの風景をイメージしよう。</li> <li>2 馬路川を元気にしよう</li> <li>3 自然の恵みでまち・ひとを元気にしよう</li> <li>4 山の恵みをいかそう</li> </ol>
参考資料 準備品 実施場所等	「大根はエライ」(絵本) 学校敷地(林「わんぱく希望の丘」、大根畑) 馬路川 JR竜野駅地域交流施設など

学習の流れ


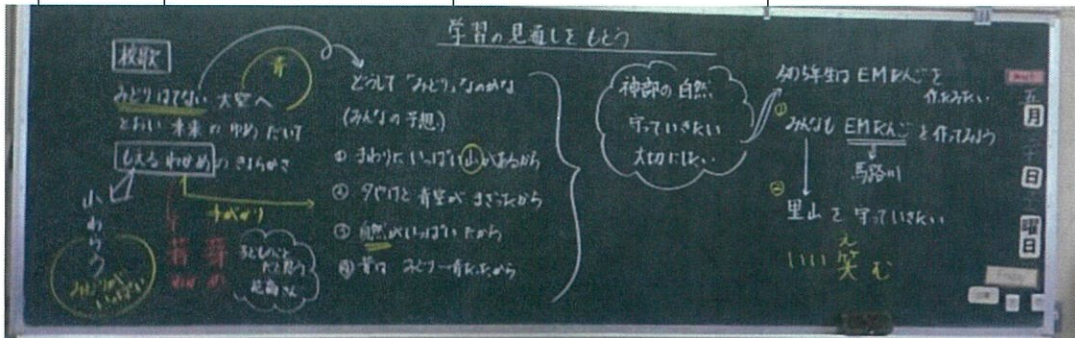




時間	学習活動	教師の指導	評価
1	1【オリエンテーション】 校歌に注目し、まちを見つめる。	・校歌の歌詞から、ふるさとの風景に関心をもたせる。	☆主体的に学習に取り組む態度
2～9	2【体験1 地域の先生とともに】 馬路川周辺を歩き、環境について知る。	・自分なりに関心をもったことを中心にタブレットで撮影させるようにする。	☆知識・技能
10～30	3【探究 自分でできること】 荒地を畑に変えて探究する。腐葉土づくりに挑戦する。	・個別の疑問や気づきをみんなで共有する時間を持ち、自然環境改善への関心を広げる。	☆思考・判断・表現
30～50	4【伝える活動】 伝えたいことを整理し、まちへ展示したり、直接話したりする。	・伝えたいことを整理し、ちらしにまとめる。それを印刷し、あめとともにまちに伝える。	☆思考・判断・表現 ☆主体的に学習に取り組む態度



<留意点>

自然環境改善への関心を高めるには、特定の子の発言に注目するのではなく、自分なりの気づきや疑問から問いをつくるようにし、知的好奇心を大切にしながら展開を心がける。

② 学習実施状況

応募申請時に、景観まちづくり学習を開始している場合などをご記入ください。

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	学校	校歌の「緑はてない 大空へ」と「もえる若 芽」の歌詞から、まち の自然と子どもへの期 待について考える。		「若芽」についてネット で調べると、自分たち子ど ものことを例えていること に気付く。
				
10	学校	6月3日(火)に地 域の先生からEM菌につ いて学び、10日(火 )に連合自治会の皆様 とともに、馬路川の環 境改善に用いるEM団子 づくりに挑戦した。		進んで頑張る子が多く、 地域の皆様から、たくさん 褒めてもらえた。現在、体 育館の西側で乾燥させてい る。
	馬路川 プール	9月乾燥したEM団子 を馬路川に入れる。プ ールには液体を入れて みる。水中に沈んだEM 団子は、1週間程度で無 くなった。プールの水 については、にごりの 変化を定期的に確認し た。	  	馬路川は揖保川につなが っていることから、まずは 馬路川の水質をきれいにし たい思いをもつ。

<p>10</p>	<p>学校敷地 と 隣接する 林(わん ぱく希望 の丘)</p>	<p>馬路川の自然だけでなく、校舎周辺の自然の様子を探る。用水路の流木や落ち葉が多いことに着目し、自分たちでできることを考える。</p>		<p>用水路内の流木は、子どもと先生で取り除く。落ち葉については、わんぱく希望の丘に腐葉土づくりのBOXをつくる計画になった。</p> <p>また、地域の先生の話聞いたことで、西門の荒地は、畑にして自然農業による大根や綿花を育てたいという思いをもつ。</p>
<p>20</p>	<p>畑</p>	<p>地域の先生に昔は、綿花栽培をしていたことを教えてもらったことがきっかけで、畑の東側に、無農薬で育てた綿花の苗を植える(1人1本)。花や綿の様子を観察する。</p> <p>地域の先生から無農薬栽培の大根の種(3粒)をもらう。それを用いて種まきをする。ビニルマルチのかわりに草マルチを用いる。</p> <p>ほかし肥料をまき、土の部分には乾燥させた草を置き、マルチとする。</p>		<p>十分な育ちではなかったものの、花にも綿にも関心をもてた。</p> <p>大根の種まきをした経験は無く、みんな興味津々だった。またマルチについても乾燥させた草を用いたことで、本当に効果があるのか関心を高めていた。</p> <p>地域の先生から、3粒まくことやほかし肥料について質問する様子から、関心をもっている子が多い。</p>

畑に立てる看板のキャラクターを募集し、みんなの代表として制作する。

種まきをして約10日後に、草マルチの効果を分析する時間をもつ。また、3粒の種から大根が育ったところに、2本間引いた畝、1本間引いた畝、間引かなかった畝の3畝にし、どの畝が大根の育ちに影響するか比較実験をする。

昔の道具を用いて根と茎の部分は「切り干し」にし、葉は地元のあめ屋：「今昔庵」にお願いし、大根あめにしただけ。









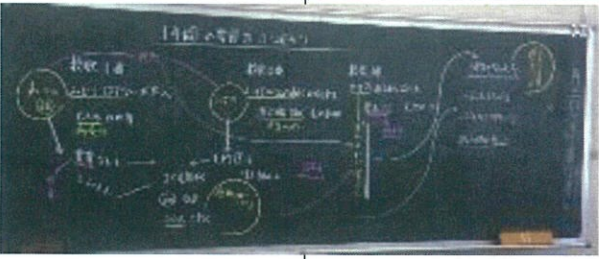
「間引いた大根にも命があること」を考えた子どもたちは、間引いた大根を別の場所に植えかえ、命をつなぎたいと思った。いったんは葉が枯れたように見えたが、新たな葉が出始める様子を見て、種の収穫への思いを強くした。

記録シートに重さと長さを記録し、みんなで分析した結果、1本植えが最も大きく育っていた。子どもたちは栄養を分けてしまうことがその要因ではないかと判断した。

昔の道具を用いながら、切り干し大根づくりをしたところ、大根の瑞々しさに「先生、食べてもいいかな」と聞く子どももいた。「あまくておいしい」と感じた子が多かった。

あめになる様子を見て感激していた。

地域の先生から、農薬は葉にたまることを聞いたことがきっかけで、無添加のあめをつくりたいと思うようになった。

	教室	大根あめに入れるPRカードを作成する。また発表会に向けて、ちらしやスライドを作成する。		大根あめが完成したことで、地域の方へのPRしたい思いを強くする。
4	林（わんぱく希望の丘）	わんぱく希望の丘の林に腐葉土づくり用ボックス（コンパネ4枚分）をつくり、落ち葉を集める。（山の恵みの資源化）	 	「自分たちが6年生になったら、この土を使って、花や野菜を育てる活動（委員会活動や理科の学習）をしたいな」という思いをもつ。
4	教室 JR竜野駅	2月の参観日を活用して、保護者向けと学校の友だち向けの成果発表会を行う。 3月6日にJR竜野駅の地域交流施設を用いて地域の方向けの発表会を開催する。その後、大根あめとちらしによる「まちとひとを元気にするためのPR活動を行う。	  	大根あめとちらしを使って「まちとひとを元気にしたい」という思いをPRする。子どもたちは積極的に活動した。  地域の方70名を前に取り組んできたことやPRしたいことを、クイズを交えながら自信をもって伝えた。参加者から大変ほめられ、達成感を得た。
1	教室	1年間の活動と校歌の歌詞（1～3）とを重ねて、学んだことを伝え合う。		「若芽」・「若鮎」とは自分たちのこと。未来のまちのため、頑張れたことを実感していた。

### ③ 学習内容について

応募申請時に、景観まちづくり学習を開始している場合などをご記入ください。

#### (1) 実施にあたり工夫した点

○オリエンテーションとふり回り場面で、校歌の歌詞を考える時間をもつ

オリエンテーションでは、校歌にある歌詞「緑はてない大空へ」や「もえる若芽の」といった歌詞に注目させる。普段見慣れている窓から景色を改めて見直す時間を設けることで、自然への関心を高めることや「若芽」が自分たちのことを表していることに気付かせる。ふり回りでは、同様に2番の歌詞「若鮎」にも注目させる。元気いっぱいまち・ひとを元気にする活動ができたことと歌詞の内容とを一致できる時間をもつ。

○子ども主体の本物体験を仕組む

地域の先生との交流を深めながら、学校のまわりの環境に目を向け、まち・ひとを元気にするために何ができるか考え行動する学習にする。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

4年生の子どもにとって、地域の先生が進めるEM菌への理解は難しい。

そこで、地域の先生と学習の目的を共有する時間をもった。自然農業への展開によって、子どもたちの主体的な学習へと結びつけた。

#### (3) 児童の反応

地域の方に認めていただいたことが達成感につながっている。以下、子どもの感想を転記する。

○校歌には、そんな理由があったと初めて知った。校歌のようにまちを良い笑むにできたと思う。みんなが聞こえやすく大きな声で発表できた。餡を美味しく食べられるような発表をみんなしていた。聞いている人だけじゃなくてまちも良い笑むにできた。100%できた。

○校歌1にあるもえるわかめとみどりはてない大空にある意味は、成長するという意味で『成長』できたと思います。校歌2にあるいほのながれにかげむれて、波の輪描くわかあゆは元気いっぱいという意味で元気いっぱいにできました。校歌3にあるきぼうあふれる丘の上、学ぶ心すこやかさの意味は伝える力で、伝える力が自分的にはつきました。

○校歌の中にあるように『いい笑む』にできたとし、自然だけじゃなくて街の人達や家族もみんな『いい笑む』にすることができた。100/100

校歌を意識したことで、自分の学びと校歌の歌詞を結び付けて判断できているのが読み取れる。

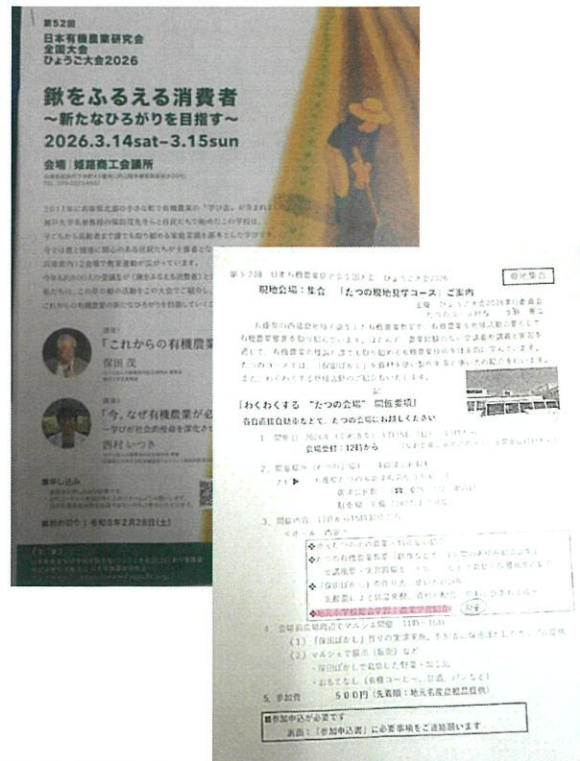
#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

昨年度までの学習活動と比較した担当教諭のコメントを記載する。

子どもが主体的に学習する様子を見て、これまでの学習方法との違いに気付けた。学習に大切なことは「知的好奇心」である。体験的な学習は、「知的好奇心」が働きやすい。これからも子どもが中心となって活動できる体験的な学習を仕組んでいきたい。

新聞記事に掲載されたり、「第52回日本有機農業研究会全国大会ひょうご大会2026」で市の農林水産課の発表に取り上げられたりと、地域からも大きな影響を受けている。後者の研究大会では本校の実践発表もあり、会場にお集まりの皆様にも大根あめを配布した。本物体験のすばらしさを理解してくださる方が多かった。

子どもの発表を聞いたまちのケーキ屋さんが大根あめとちらしを店舗においてくださるなど、地域の応援もうれしい。多くの方が、校歌の風景を見つめることをきっかけにした、子どもの主体的な学習に注目して下さっていると実感する。



#### (5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)

次年度(創立135周年)も、3、4年生は身近な校歌の歌詞を出発点に、「自然」をテーマにした探究的な学習を仕組む。また今年の4年生は5年生で「まちの食と産業」について学習する予定である。ふり返しカードには「有機農業」への関心がある子が多いうえ、地域の先生として協力したい思いをもっておられる方もいることから、子どもの思いを大切に学習カリキュラムを構成したい。

まちの「ひと・もの・こと」を探究するためには、身近な環境を生かした本物体験が欠かせない。いっそう子どもたちの知的好奇心が働くように、地域の先生とともに学習支援し、子どもたちが、『まち・ひと』を元気にする活動をできた」と実感できるような活動にしたい。

【参考資料】

### まちや自然をいい笑むに

無農薬で昔の笑顔を取り戻したいです。  
 私たちは無農薬の大根を作っています。私達は無農薬で作った大根の葉っぱを煮い、大根餅を作ることになりました。それはほんごころになるだけでなく、風邪予防にもなります。これで風邪をひくことも少なくなり、笑顔が増えると思います。  
 このよきな工夫で昔のいい笑むになると思っています。  
 これで昔の笑顔を取り戻します



私達は、大根餅を作ったり、おまろ土コーナーを作ったりして自分で肥料を作っています。

EM団子を作って馬路町をきれいになりました。EM液を作り、プールをきれいになりました。EM菌は強力な消臭と環境浄化の効果を持っています。トイレの掃除や消臭に使ってみてもいいですね。

私達は、他にも「大根はえらい」という歌をよんで大根のすごさを歌いました。読んでみてください。




神部小学校いい笑む委員会  
 九つの市立神部小学校4年生

### 良い笑むに、まちも自然も！

私達は川にEM団子入れてきれいになり、無農薬の大根を作ったり、石鹸を作ったり、自分たちでよき土を作ったりしています。そして肥料も作ったり、切り干し大根もだいこんあめなど作りしました。このようにいろいろな活動をしています！







神部がEM（良い笑む）になるように努力をしています。良い笑むのみんなも作りしました。

無農薬の大根を作ったりEM団子を作ったり切り干し大根も作りしました。みんなも自然も、元気にしたいです。



まさと






神部小学校いい笑む委員会  
 九つの市立神部小学校4年生

12 チームがそれぞれちらしをつくりました。

#### ひとつぶの あめで 毎日が 幸せに！

ぼくたちは、体にやさしいむのうやくの、大根をつかってだいこんのあめを作りました。おいしく食べてくれたらうれしいですぜひ食べてください。




◀ 4 三 ▶  
 ▶ ち さ ▶

体にやさしい材料のみで作りました。 神部小4年生

#### ひとつぶで えがおあふれる 毎日を！


無農薬で大根あめを作ったよ食べたならみんなが笑顔に 4年 <さなりん>



体にやさしい材料のみで作りました。 神部小4年生

#### ひとつぶの あめで 毎日が 幸せに！


無農薬のダイコンの葉っぱを使って、あめを作りました！体にもよく、美味しいです！このダイコンは私たち4年生みんなが頑張って作りました！ぜったいたべて!! (4年さや)



体にやさしい材料のみで作りました。 神部小4年生

#### ひとつぶで えがおあふれる 毎日を！

私達は大きな大根を無農薬で育てました。なのでこの大根あめを食べたときに笑ってくれると嬉しいです 4年(じゅあ)



体にやさしい材料のみで作りました。 神部小4年生

あめのラベルです。一人1つ作成しました。(キャッチコピーはクラスごとです。)